よしの荘だより

平成 31 年 3 月 10 日発行

よしの荘創立20周年に想う

施設長　久松美三雄

よしの荘が開設して20年の歳月が経過しました。これもひとえに関係機関の皆様、ご家族の皆様、地域の方々など多くの皆様方のご理解とご協力の賜と厚くお礼申し上げます。開設した当時は、日本の高齢者制度が大きな転換期を迎えていた時期でありました。開設時は措置時代と言われ、特養に入所するには行政の関与（措置権）が必要でした。この20年の間に、特養の入所関係では総数411名の方々を受け入れ、介護サービスを提供し、「介護の社会化」に少しは貢献できたかなと考えているところです。

一方、介護保険制度は「持続可能な制度」をうたい文句に介護報酬の引下げや保険給付の削減や自己負担の増加、介護保険料の増加など施設運営するものはもちろんのこと、利用者・家族にとりましても厳しい改正が何回かおこなわれてきました。

これからは、誰でも安心して利用できる介護保険制度になることを願いつつ、介護保険制度の基本理念であります「自立支援」「利用者本位」を基本にこれからの「よしの荘」の運営にすべての職員が力をあわせ努力していく所存であります。

職員紹介コーナー今回は創立時より勤務している10名に3つの質問?!

①20年で1番の思い出　②マイブーム・趣味　③今後仕事で頑張りたいこと

松本強　副施設長

①開設当初はワープロを持ち込んで仕事をしていたが、ある日パソコンが出現したこと

②神社仏閣や古い建物を見るのが好きです。桧皮や茅葺は身も心も癒されます。

③年を重ねるごとに記憶力が低下していくのがひしひしと感じられるので、何とか食い止めるのが今の仕事です。

渡辺美津子　ケアハウス相談員

①20年という年月は赤ちゃんが成人となる年数です。私もご利用者と関わりながら成長できた20年でした。

②筋トレを始めてちょうど1年になります。体力の衰えも自覚し、続けている今日この頃です。30分のワークアウト、継続するぞ～！

③自分の体調管理をしっかり行なって、笑顔を忘れずにご利用者の気持ちに寄り添い、仕事を続けて行きたいと思います。

小川純子　特養主任相談員

①設立当初、仕事帰りのお食事。同期と介護を語り、私の中の福祉や介護の基盤が出来ました。今は子育てで自宅直行です。

②わからないことは、すぐネットで検索！最近、公私共にパソコンやスマホに頼ることが増えました。

③20年前に比べると人々の介護に対する意識が変化しています。クオリティの高い介護を目指していきます。

中茎美枝　特養主任介護士

①認知症のご利用者の思いもよらない行動！驚くことばかりでしたが思わず微笑んでしまうことが多かったです。

②昨年、伊勢神宮で御朱印帳を手に入れたので、御朱印集めをしようかと思っています。

③ご利用の皆様と、明るく笑い合いながら毎日を過ごして行きたいと願っております。

石塚法子　主任特養看護師

①いろいろな事がありすぎて一つに決める事は出来ませんが、私は「よしの荘」が大好きです。

②休みの日、家の広い庭の手入れをする事が何よりのストレス解消です。

③定年までの残り13年間、自分に出来ることをよしの荘のために、私なりにがんばって行きたいと思っています。

吉川友美　特養介護士

①吉野公園での花見、屋上で観た常総市花火大会、みんなで行った牛久大仏。楽しい思い出ばかりです。

②息子たちの成長が楽しみなので、今は息子たちがサッカーをしている姿を見るのが好きです。

③ご利用者とのコミュニケーションを大切にし、どんな時でもその人の立場になり、個人を尊重したケアをしていきたいです。

園田幸子　デイサービス副センター長

①百歳のお祝いの際「よしの荘が私の生きがいです」のお言葉をいただき、目頭が熱くなりました。

②低糖質のお菓子作り

③ご利用者、ご家族との関わりを今以上に大切にしていきたいです。

村上佳代　デイサービス相談員

①よしの荘。初めての就職先。平成10年4月13日開所式。毎年創立記念日のお昼は赤飯。うれしい！

②誕生日、家族にもらった「ガラスの仮面」と「ベルサイユの薔薇」のぬり絵。少しずつ進めています。

③人生の半分、よしの荘。今までとこれからの出会いを大切に、笑顔で仲間たちと仕事をしていきたいです。

中島歩美　デイサービス介護士

①よしの荘立ちあげ後、数人ずつご利用者が入られたときの緊張と感動。「さあ、これからだ」と身が引き締まる思いでした。

②ショッピング、人間観察、ビデオ鑑賞

③ご利用者にとって快適に過ごせる場所、そして楽しいレクの時間の提供を目指し、初心を忘れずがんばります！

杉山弘子　事務員

①東日本大震災、誰もが経験のない激しい揺れ。その中で協力し乗り切ったこと。

②音楽クラブ、職員7人で2ケ月に1回練習して早13年。トーンチャイムの響きに癒されます。

③ホームページ、活き活きとした文章でお伝えしたい。プレバト夏井先生の本で勉強します

節分

今では12月31日が大晦日、1月1日が元旦で新年の始まりとなる日ですが、その昔は立春が新年の始まりでした。そのため立春の前日である節分が大晦日だったのです。1年を締めくくる節分は、その年の中でも特に重要な日なのです。

その日、よしの荘にもいろんな鬼が出没しました。「節分ボーリング」に「紅白豆入れ」と、節分豆の形も様々に「鬼は外！福は内！」大きく元気な声が響きました。厄や災難そしてインフルエンザも思いきりやっつけました。めでたし、めでたし！

職員研修「施設内感染対策について」

11月21日、全職員対象の感染対策研修を行いました。昨年に引続き筑波メディカルセンター病院感染管理認定看護師仙田順子先生にご講義いただき、また東京サラヤ㈱様による嘔吐物処理の実技など、大変興味深い内容の研修会となりました。

感染源を『持ち込まない・広げない・持ち出さない』この基本を忘れず勉強会を繰り返し、感染対策を行っています。

新人紹介

・中山祐希（介護士）

まだ慣れない事や分からない事が多くありますが、がんばって行きたいと思います。

・石塚千穂（介護士）

8月からユニットに入職しました。1日も早く仕事にも慣れて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

・間島久美（介護士）

10月より入職しました。利用者の皆様が安全で快適に過ごせるように努めて行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

・石塚大輝（清掃業務）

一歩ずつ頑張ります。よろしくお願いします。

聴いてほしい！お琴の調べ

10月31日、お琴の優しい調べが流れました。生田流箏曲正弦社師範稲垣佳代子先生と、お弟子さんの演奏です。きっかけは、よしの荘一番のご長寿さん（102歳）のお孫さんが「習ってまだ1年だけど、おばあちゃんに聴いてもらいたい」この思いに稲垣先生が賛同され「いっしょに行って、よしの荘の皆さんに聞いてもらいましょう」というものでした。ご利用の皆様も口ずさみながら聞き入っていらっしゃいました。

素敵な演奏ありがとうございました!

ボランティア・実習生

・読み聞かせ　篠崎様
・紙芝居　角川様
・お洗濯　林様
・筑波総合福祉専門学校

編集後記

よしの荘だよりも20年で47号となりました。過去の紙面を見返すと、ご利用者やご家族、職員の笑顔が当時のまま残っており、感慨深いものがありました。今後も、よしの荘の取り組みを伝える役割を果たしていきたいと思います。

《苦情申し出窓口》
苦情責任者　久松　美三雄
第三者委員　鯉沼　和義・柴崎　勝也

《各部署窓口》

特別養護老人ホーム	小川　純子（生活相談員）
	中茎　美枝（主任支援員）
	宮本　正己（主任支援員）
居宅介護支援事業所	松本　強（主任介護支援専門員）
通所介護事業所	園田　幸子（副ｾﾝﾀｰ長、看護師）
	村上　佳代（生活相談員）
ケアハウス	渡辺　美津子（生活相談員）

※紙面の写真・氏名については、ご本人または、ご家族の同意を得て掲載しています。

《発行者》
社会福祉法人東雲会　よしの荘
本館　TEL　０２９７－２２－７７１６
　　　FAX　０２９７－２２－７１７６
新館　TEL　０２９７－２０－２１１２
　　　FAX　０２９７－２２－７８０７
《所在地》
茨城県常総市上蛇町 1888-1
<ホームページ>http://www.yoshinosou.or.jp/

いろいろなお雛さまを飾りました!